



2024年 プレゼминаールのご案内

プレゼминаール 2024年9月28日(土)

エントリー開始 2024年8月20日(火)

プログラム

9:20~9:50 開会式・全体説明(8:30~ 受付開始)

文系:文化を科学する

10:15~14:30(昼休み11:45~13:00)

セミナー1 (中世・初期近代英文学)
シェイクスピアとヨーロッパ恋愛詩の伝統 定員30名

セミナー2 (社会政策・社会福祉学)
「必要」と「欲望」で考える生活保障 定員30名

セミナー3 (西洋服飾論)
服飾とジェンダー 定員30名

セミナー4 (パーソナリティ・臨床心理学)
感受性の高さは何をもちたらすか? 定員30名

セミナー5 (演劇学・文化情報学)
歌舞伎はいかなる演劇か 定員30名

理系

10:15~14:30(昼休み11:45~13:00)

セミナーA (ソフトマター物理学、理論物理学)
印象派物理学入門 定員20名

セミナーB (電気化学、界面物理化学、表面科学)
エネルギー・環境を考慮した「電池」の未来 定員20名

セミナーC (植物細胞生物学)
植物の細胞内はダイナミックに動いている 定員20名

セミナーD (情報科学)
コンピュータグラフィックスを体験する 定員20名

セミナーE (公衆栄養学)
心身の健康をまもる災害時の食事 定員20名

セミナーF (デザイン工学、都市・建築デザイン学)
共創工学から考える都市・建築デザイン 定員20名

※セミナーによって授業時間配分が多少異なる場合があります。
※総合型選抜(新フンボルト入試)文系学科受験者は、各セミナー終了後、レポートを作成します(14:45~15:45)。
※理系学科志望の総合型選抜(新フンボルト入試)受験者は、プレゼминаールの受講は必須ではありません。
理系学科の第1次選考は書面審査にて行われます。
※プログラムの内容が変更になる可能性がありますので、最新の情報は、ホームページにてご確認ください。



セミナー後のアフタープログラム

附属図書館見学 (①14:45~15:45、②16:00~17:00)

附属図書館を自由に見学できます。①は新フンボルト入試文系受験者以外(文理問わず)どなたでも参加できます。

②は新フンボルト入試文系受験者のみ参加可能です。

理学部化学科 研究室見学ツアー (14:45~17:00)

化学科エリアの教室ならびに実験室、研究室の様子を見学できます。また、化学科受験を検討するにあたって質問がありましたら、その場で相談も可能です。

理学部生物学科 大学院生による研究ポスター発表／自主研究課題相談会／オンライン研究室めぐり

(14:45~16:45) ポスター発表では、大学院生の最新の研究成果を聞くことができます。相談会(高校2年生のみ参加可)では、大学教員が課題の選定や研究の進め方などの相談にのります。それぞれの詳細は、ホームページでご確認ください。

生活科学部食物栄養学科 合格者への質問会 (14:45~16:45)

新フンボルト入試で入学した食物栄養学科の4年生2名への質問会です。個別ではなく、オープン形式で開催します。2人の体験談を聞くことができますが、令和7年度入試に関する質問には一切お答えできませんので、ご留意下さい。

アフタープログラムに参加を希望する場合は、エントリーの際に申込が必要です。

文系

下記5つのセミナーから選択してください。
10:15~14:30



セミナー1

シェイクスピアとヨーロッパ恋愛詩の伝統
(新居達也：中世・初期近代英文学)

定員30名

「文学」という言葉を聞いた時、皆さんの多くは小説を連想するではないでしょうか？小説が文学の支配的な形態となっている現代では、「文学」と「小説」がほぼ同義で語られることも少なくありません。しかし、イギリスにおいて小説は18世紀に出現した比較的に新しいジャンルであり、それ以前の時代には詩という表現形式が文学の主流でした。このセミナーでは、英文学を代表する作家ウィリアム・シェイクスピアの詩と演劇を通して、ヨーロッパ恋愛詩の豊かな伝統を探ってみたいと思います。

セミナー2

「必要」と「欲望」で考える生活保障
(三宅 雄大：社会政策・社会福祉学)

定員30名

皆さんは、生きていくうえで何を「必要」としているのでしょうか。仮にリスト化するとしたら、住居、食糧、衣服…等々、おそらく多くの項目が列挙されることになるかと思いますが、ここで少し立ち止まって考えてみてほしいのですが、皆さんが「必要としているもの」は、皆さんが単に「欲しているもの」とどのように違うのでしょうか。本セミナーでは、社会政策における「必要 needs」概念を「欲望wants」との対比のもと理解し、社会政策における生活保障の在り方を考えていきたいと思っています。

セミナー3

服飾とジェンダー
(新實 五穂：西洋服飾論)

定員30名

現在、服装における性差は実に小さなものとなり、性のクロスオーバー化は一つのスタイルとして存在しつつあります。一方で、服装に性のらしさ、つまり社会的・文化的な性別や性の在りよう(ジェンダー)を求められる場面も少なくありません。服飾とジェンダーとは、どのような関係にあるのでしょうか。本セミナーでは、服飾デザインとジェンダーの関係性を見つめ直すとともに、公的な場面での服装規範や服装規定について考えてみたいと思います。

セミナー4

感受性の高さは何をもたらすか？
(平野 真理：パーソナリティ・臨床心理学)

定員30名

「自分は人よりも傷つきやすい」と感じたことはありますか？あるいは、「人よりも感動しやすい」と感じたことのある人はいるでしょうか。同じものを見たり聞いたりしても、それによってどの程度影響を受けるかは人によって違います。本セミナーでは、そうした「感じやすさ」の個人差に関する理論である感覚処理感受性の研究をご紹介しますとともに、皆さん自身がどのような感覚の特徴を持っているのかについても目を向けていながら、感受性とのつき合い方について理解を深めていきます。

セミナー5

歌舞伎はいかなる演劇か
(埋忠 美沙：演劇学・文化情報学)

定員30名

400年以上の歴史を持つ歌舞伎は、時代ごとの表現様式を貪欲に摂取し続けてきた「変化する演劇」です。それでは歌舞伎を歌舞伎たらしめる特徴とは一体どこに見出せるのでしょうか。デジタルアーカイブを利用して江戸時代の資料を紐解きながら、物語の構造、歌舞伎役者という存在とその身体、そしてそれに基づく表現手法の特色を分析して考察します。



印象派物理学入門

セミナーA —しずく、みずたま、切り紙、クモの巣に潜む最先端の物理学—
(奥村 剛：ソフトマター物理学、理論物理学)

定員20名

水道の蛇口からしたたり落ちる滴も、よく伸びる切り紙も、クモの巣の丈夫さも、「印象派物理学」を使うと、美しくシンプルな物理法則に支配されていることが分かります。さらに、その背景を探ると、そこには現代物理学の最先端にある深遠な世界が広がっていることが分かってきます。皆さんも、身近な現象に潜むシンプルで奥深い物理学のフロンティアを覗き込んで、一緒にワクワクしてみませんか。

セミナーB エネルギー・環境問題を考慮した「電池」の未来
(近藤 敏啓：電気化学、界面物理化学、表面科学)

定員20名

化石燃料の枯渇や地球温暖化などの現代のエネルギー・環境問題の解決策の1つとして、『電池』があります。これまで電池は私達の日常生活を支えてきましたが、昨今その役割は益々広がり重要視されています。ここでは『電池』の基本原則とその歴史を概説した後に、社会問題の解決につながる新しい『電池』として、再生可能エネルギーを利用する「太陽電池」やそのエネルギーを貯めておける「蓄電池」の原理や機能を紹介し、低コストでクリーンな『電池』をどのように研究・開発していくかを考えてみましょう。

セミナーC 植物の細胞内はダイナミックに動いている
(植村 知博：植物細胞生物学)

定員20名

「細胞」は生命の基本単位であり、細胞内には「細胞小器官」と呼ばれる小さな部屋が多数存在しています。それらは特別な機能を持っています。本セミナーでは、植物細胞内の細胞小器官についてその役割について説明し、実際にそれらの細胞小器官の動態を、最先端の顕微鏡を用いて観察してもらいます。動くことができない植物のダイナミックに動く細胞小器官の世界を覗いてみましょう。

セミナーD コンピュータグラフィックスを体験する
(伊藤 貴之：情報科学)

定員20名

コンピュータグラフィックス(CG)は、ゲームや映画のみならず、自動車や建築の設計、科学現象の解明をはじめとする多くの場面で私達の日常生活を支えています。このゼミナールでは皆さんに、CGを用いて立体的なシーンを表現するためのプログラミング技術を体験していただきます。具体的にはまず、サンプルプログラムを用いて物体の形状、色、動きなどデザインするための理論を説明します。残った時間で自由に立体的なシーンをデザインして頂き、プログラミングの難しさや楽しさを体感していただきます。

セミナーE 心身の健康をまもる災害時の食事
(須藤 紀子：公衆栄養学)

定員20名

前半は、ライフライン途絶時を疑似体験する調理実習です。災害時を想定した調理・喫食・片付けを体験することで必要な備えを理解してもらうのがねらいです。電気・都市ガス・上水道を使用せずに、災害時に適した食事を作ってみましょう。後半は、カードゲームを取り入れながら、災害時要配慮者の食事について学びます。災害時に入手可能な限られた食材で、いかに変化のある食事を作れるか、考えてみましょう。

セミナーF 共創工学から考える都市・建築デザイン
(藤山 真美子：デザイン工学、都市・建築デザイン学)

定員20名

共創工学は、文系と理系の学びを共に活かす共創能力によって、大局観を持ちながら文理の知恵を併せて新しい技術や文化を創り出すことを目指す、新しいコンセプトの工学です。私たちの暮らす都市・建築空間は、自然、技術、生活等のさまざまな要素が重層しながら構成され、発展してきました。これらの共創が育む創発的な次世代の都市・建築デザインの可能性について、工学的理論と芸術的感性の総合的視点から皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

プレゼминаールのエントリー方法について

お茶の水女子大学プレゼминаールは、事前エントリー制を取ります。応募者多数の場合は、新フンボルト入試受験者が優先となりますことをあらかじめご了解ください。エントリー期間に、専用のフォームよりお申し込みください。



エントリー期間	2024年8月20日(火)～9月3日(火) 17時
参加資格	本学での学びを志望する女子 (高校2・3年、性自認が女性であるトランスジェンダーの生徒を含む)

<エントリー時の注意>

セミナー内容をよく読み、第1～第3希望を選んでお申し込みください。応募者が多数の場合には抽選となり、第2または第3希望のセミナーを受講する可能性があることをご承知おきください。

文系学科を志望する新フンボルト入試受験者は、文系セミナーへのエントリーと新フンボルト入試出願書類の提出(出願期間9月2日(月)・9月3日(火))の両方を、期限内に必ず行ってください。この場合、プレゼминаールにはなるべく出願に先行してエントリーしてください。(エントリー完了時に通知される申込番号を控えておき、新フンボルト入試出願時に申込番号と希望セミナーを入力してください。)

※文系学科志望の新フンボルト入試受験者は必ずいずれかのセミナーを受講できますが、非受験者は抽選の結果いずれのセミナーも受講できない可能性もあります。あらかじめご了承ください。

※新フンボルト入試非受験者は、アフタープログラム(表紙ページ参照のこと)のみの参加も可能です。

<申込フォーム>

下記のURL(またはQRコード)の「2024プレゼминаール・申込フォーム」から必要事項を入力し、申し込みをお願いします。

<https://www.ocans.jp/ocha?fid=2MW5byxK>

※エントリーを受け付けたのち、アドミッション・オフィスから確認のメールを送ります。9月中旬までにセミナー受講決定についてメールでお知らせします。なお、ocha@ocans.jp および admissions@cc.ocha.ac.jpよりメールをお送りしますので、必ず、@ocans.jpおよび@cc.ocha.ac.jpからのメールを受信できるよう設定しておいてください。その後のご連絡も、主にメールで行います(新フンボルト入試受験者への入試に関する連絡は郵送にて行います)。



<注意>

※エントリー後、何らかの事情で受講できなくなった場合には、速やかに下記アドミッション・オフィスまでご連絡ください。

※プレゼминаールへのエントリーのためにご記入いただいた個人情報は、本学の入学志願者・受験者に関する情報と同様、適切に処理いたします。同個人情報は本学が管理し、プレゼминаールの運営および付随する業務を行うために必要な範囲内で利用します。お茶の水女子大学における個人情報の取扱いについては下記のとおりです。

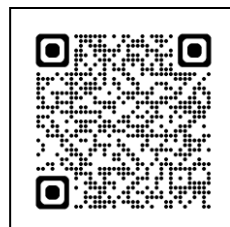
<https://www.ocha.ac.jp/about/individual.html>

問い合わせ先

お茶の水女子大学 アドミッション・オフィス
MAIL admissions@cc.ocha.ac.jp
TEL 03-5978-2700 FAX 03-5978-2566

※アドミッション・オフィスのスタッフが不在の場合もあるため可能な限りメールでのお問い合わせをお願いいたします。

プレゼминаール特設サイト



令和7年度 学生募集要項

